

令和元年 07 月 31 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：受精卵に対する異数性の検出と診断マーカーの探索

本研究は藤田医科大学のヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2024 年 3 月におち夢クリニック名古屋で不妊治療における体外受精を受けられたご夫婦のうち、不妊治療の終了ないしは受精卵の廃棄を希望され、凍結保存されている受精卵の廃棄の申し出（凍結胚廃棄依頼書）を行った方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：体外受精（または顕微授精）等の不妊治療が全国的に広く実施されている一方で、高齢女性においては、妊娠率の低下や流産率が増加するとともに、トリソミー等の染色体異常の発生が増加することが明らかとなっています。本研究では、体外受精（または顕微授精）後に廃棄する受精卵（廃棄胚）を用いて、染色体解析を行うとともに染色体異常と関連する遺伝子や noncoding RNA（micro RNA 等）、エキソソーム関連タンパク等について検討を加えることを目的としています。

方法：おち夢クリニック名古屋で、通常の不妊治療として体外受精により受精卵を凍結保存されているご夫婦のうち、不妊治療の終了ないしは受精卵の廃棄を希望された際の凍結受精卵（廃棄胚）から採取した細胞を研究検体として提供していただきます。その後、藤田医科大学で DNA, RNA, タンパク等を抽出して、染色体異常（異数性）の有無を検出するとともに、染色体異常と関連する遺伝子や RNA, タンパク等を解析します。また、培養液を用いた検討により、染色体異常の診断マーカーの同定や着床前診断への有用性について検討を行います。

研究期間：倫理委員会承認日～2024 年 03 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：廃棄胚から採取した細胞および培養液

情報：年齢、妊娠歴、治療歴、各ホルモン値、胚のグレード、等

4. 外部への試料・情報の提供

研究試料である廃棄胚から採取した細胞および培養液とともに、診療情報を匿名化（どなたの情報かわからないようにする）したうえで電子データとして記録媒体に保存して、研究分担者が藤田医科大学に移送します。対応表はおち夢クリニック名古屋の院長が保管・管理します。

5. 利用する者の範囲

藤田医科大学産婦人科ならびにおち夢クリニック名古屋の研究責任者および分担者が解析データを利用します。

6. 研究組織

研究代表者： 藤田医科大学 産婦人科 教授 西澤春紀

共同研究機関： おち夢クリニック名古屋 院長 越知正憲

7. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方、またはその代理人の方から、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供停止のお申し出があった場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究の対象となる方に不利益が生じることはありません。

他に本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

8. 研究資金、人的・物的とその他の支援、利益相反

研究資金として藤田医科大学内の研究助成費を使用し、外部の物的・人的な支援を受けません。また、研究責任者と研究分担者に、本研究に係わる開示すべき利益相反はありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 産婦人科

担当者：西澤春紀

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9294

e-mail: obgy9294@fujita-hu.ac.jp